

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2949号 2022年4月19日(晴れ) 第37回例会 会員数116名

ハイブリッド例会

点 鐘 倉井 章会長
司 会 副SAA 山下会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇持帰り弁当



会長挨拶 倉井 章会長

皆様、こんにちは。本日も例会にご出席いただきまして有難うございます。

中国は、ゼロコロナ戦略を取っており、上海ではロックダウンが続いていますが、日本は、ウイズコロナへ舵を切ったような感じです。JTBとHISは4月13日、コロナ禍により中止が続いていたハワイツアー(募集型企画旅行)を再開すると発表しております。JTBは4月28日出発分から、HISは5月1日出発分から販売するようです。2020年3月以来、約2年ぶりの再開となります。3月1日以降、ワクチン3回目追加接種者について 日本における入国時の自宅待機が免除となり、感染症危険情報レベルの引き下げを受けて再開を決定し、現地の安全確認と受け入れ体制が整ったことを確認したとしております。HISでは、万が一、コロナ感染が確認された場合も、ホテル、帰国便の変更手続きから日用品の買い出しまでサポートするなど、同社のハワイ支店が24時間サポートするそうです。今年のロータリー国際大会が6月4日から8日まで米国ヒューストンにおいて行われます。コロナ禍でなければ、是非とも行きたいところですが、現実的に難しいようです。

先週の13日(水)に、宇都宮南RCの創立40周年式典に出席をして参りました。1981年12月20日、我がクラブがスポンサークラブで、辻 由兵衛PGが特別代表となり 25名のチャーターメンバー

での創立です。来賓祝辞で当クラブの渡邊有規ガバナー補佐が挨拶をされました。来賓は、アディショナルクラブの宇都宮陽南RC、友好クラブの宮城県の亘理RC、高崎RCで、会員のための記念式典となりました。

話は変わりますが、ロータリーの組織運営にクラブの声を反映させる機会として審議会が存在します。審議会には、決議審議会と規定審議会があります。決議審議会は、毎年オンラインで開催され、決議案と緊急制定案への投票が行われます。決議案とは、組織規定文書に記載されている事柄の範囲外で、RI理事会 または ロータリー財団管理委員会による決定を求めるものです。また、決議案は、地域的または運営的事柄に関するものより、ロータリー世界に影響を与えるものが理想とされています。緊急制定案とは、RI理事会により提案され、組織規定文書に変更を加えることを目的としています。次回の規定審議会(3年に1度開催)まで待てないとRI理事会が判断した場合に提出されます。

決議審議会では、全ロータリー地区の代表議員(現在2550地区では、中谷研一PG)が、クラブ、地区、RI理事会、RIBIの審議会または大会によって提案された案件に投票します。採択された決議案は、その後、RI理事会または管理委員会によって審議され、採択された緊急制定案に基づき、組織規定文書が改正されます。この改正は、決議審議会の報告書が送付されてから1カ月後に有効となります。

一方で規定審議会は、国際ロータリーの立法機関で3年に1度開催され、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案について審議と投票が行われます。本年4月10日~14日まで米国イリノイ州シカゴにおいて行われました。23カ国及びRI理事会から合計93件の制定案が提出されております。提

案数は日本が一番多く 26件、ブラジルが13件、R I 理事会が12件、米国が10件となっております。決定に関する報告書が届きましたら紹介させていただきます。

本日は、1月第1例会で入会されました、駒場会員と杉本会員によりまずイニシエーション・スピーチです。

本日も最後まで宜しくお願い致します。



幹事報告

渡邊和裕幹事

- ◇6月4日～8日、米国テキサス州にてヒューストン国際大会開催。登録はマイロータリーから。ご参加の方は事務局までご連絡下さい。
- ◇第18回高校生RYLAセミナーについて
6月12日（日）宇都宮文星女子高等学校にて開催。セミナー見学希望の方は事務局までご連絡ください。
- ◇5月5日開催の市内10RC親睦ゴルフ大会に20名のエントリーをいただきました。ご活躍、健闘をお祈りいたします。

「3分間スピーチ」

鈴木 明会員

皆さん、こんにちは。本日は「自己紹介」をしたいと思います。私は、昭和34生まれの63歳です。少年時代は宇都宮市の京町で育ち、西原小、一条中に通いました。小学校時代の私はいたずら坊主で、廊下に立たされてばかりでした。そんなことですから、成績はけっして良い方ではありませんでした。転機が訪れたのは中学に入り、美術の先生に出会ったことからです。もともと、美術は嫌いではなかったのですが、授業以外でも接する機会が多くなり、色々と教えていただきました。みどりの週間では、「みどりこそいのち」とタイトルで描いた作品がコンクールで最優勝賞となり、その原画がポスターとして県内の学校等に配布されました。そんな出来事から、色々なことに集中できるようになりました。何事も興じることが良いのでしょうか。何年もして、旧八幡山タワーの頭部に、「みどりこそいのち」の標語を見つけた時は驚きました。

経済的に大学進学をあきらめた私は小山高専に入ります。高度成長期に即戦力となる人材をつくるという、産業界からの強い要望でできた国立の5年制の学校です。現在は少し違っているようです。当時は、学費が半期で9,600円、寮費が年3,600円、食費は1日3食で800円でした。研究室の教授もいろいろな意味で高専を選んだ学生たちを理解していたのかもしれませんが。そして、「鈴木君、夏休みは私の手伝いをしてくれないか？」と、

私を東京大学に連れて行ってくれました。教授や学会の先生方、学院生たちと学会の手伝いと称しながら卒業研究をさせていただけたのです。私にとっては、大変価値のある経験でした。

また、ゴルフを通じ、多くの方に出会い、交友関係が広がりました。今、この名誉ある宇都宮東ロータリークラブの会員になっています。たくさんの方と出会い、いろいろなことでお世話になり感謝しております。前回のスピーチでは、ゴルフと仕事の話をしました。これから、年を重ねるごとにBSテレビで放送しているゴルフ交遊抄の最後に出る、ポビー・ジョーンズの格言のように出来たらいいなと思います。『人生の価値は、どれほどの財産を得たかではない、何人のゴルフ仲間を得たかである』

※次回3分間スピーチは菊地正幸会員



卓話

新会員卓話 イニシエーション・スピーチ



駒場 洋助会員

皆様こんにちは。1月に入会いたしました(株)日環の駒場洋助と申します。本日は、自己紹介をさせていただきますと思います。義理の父が日環の代表で、宇都宮東ロータリークラブ会員の長野榮夫です。社長、親父(オヤジ)とのエピソードを交えながらお話させていただきます。

私は、1980年生まれ、現在41歳です。日光市(旧今市市)の岩崎という宇都宮市と鹿沼市、日光市の交わるあたりで生まれました。農家の長男で、兄弟は姉と妹、男一人ですので、小さい頃から農家の跡継ぎだと言われて育ちました。子供の頃は自然の中を駆けずり回って遊んでいました。小学校の頃の日記を見ると、毎日、捕まえた魚の種類と数、捕まえた虫の種類と数を書く、そんな子供時代でした。

そんな私が、なぜ、今ここにいるのかをお話させていただきます。自分でも想像していなかった人生を歩んでいると思います。先程お伝えしたとおり、義理の父が日環の代表の長野で、私の妻は長女になります。妻と付き合った当時、私は専業農家で、両親と田畑を耕す日々で、経営者の家庭など、想像もつきませんでした。

初めて社長に会う時は、相当ビビっておりました。人生で一番ビビった瞬間だと思います。席についてからはどんどんと酒を注いでいただき、父をご存知の方は想像通りです。「結婚する気はあるのか?」「ハイ」と答えると「ならばやくしろ!」と。農家の長男であること、会社のことは何もできそうにないことを伝えましたが、受入れてもらえた気がして、ひたすらに嬉しくて、ひたすらに飲んで、初めてあった日から、ぐでんぐでんのべろんべろんでした。

会社に入るときも「農業だけでは生活が大変だから、たまに会社に出るようにしたらいい」そんな風に言ってもらい、甘えた感じで何の覚悟もなく入社しました。懐の深い親父に面倒を見て貰い、会社の幹部も、辛抱強く育ててくれました。今日は社長の長野は欠席ですが、この場をお借りして感謝を伝えさせていただきます。いつもありがとうございます。

会社は今年、3月24日で45周年になりました。廃棄物処理という仕事が、社会にとって必要であり、社長、社員がお客様に応えるために頑張ってきたので、45年を迎えられたのだと感じています。最近、後を任すとも言ってもらえ、社長が我が身のように育ててきた会社を、強く、成長させていけるように、自分に何ができるか、何をしなければいけないか、毎日考えながら仕事しております。考えるだけでなく、行動しなければいけません。私は出不精なところがあり、社長からも、「もっと外にでなければいけない」と言われています。ロータリークラブに入れていただいたのも、「外に出て世の中のことを勉強しろ」というメッセージもあるのかと思っています。私は人に恵まれていると、いつも思っています。皆様とのご縁を感謝します。どうか、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



杉本 充彦会員

皆様、こんにちは。私は本年1月に(株)セゾンハウジングの金子さんのご紹介で、この宇都宮東ロータリークラブに入会させていただきました。40歳、独身、宇都宮育ちで、司法書士という仕事をやらせていただいております。入会后約3ヶ月が経過いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の

影響によりまして、1ヶ月以上はZoomでの参加、本来の会食が経験できず、クラブ本来の活動をまだ味わうことが出来ない状況が続いております。そのうち、コロナが落ち着くと思っております。これまで、気長に待ち続けようかと考えております。毎週、お昼時のリラックスした時間帯で、様々なテーマの卓話を聞けるというのは、このロータリークラブならではの醍醐味ではないかと実感させていただいております。

私は、昨年までJCに所属しておりました。昨年、無事、卒業しました。ロータリークラブの他にも、YEG等に所属しています。司法書士会には、50以下の若手司法書士から構成される青年の組織がございまして、その会長を今年4月から職をお預かりさせていただいております。早速今週末、最初の公務ということで福岡に出張する予定があります。

私は、約6年前にJR岡本駅前で、今の司法書士事務所を立ち上げました。司法書士という仕事は、一般的には認知度が低いかと思うのですが、法務局や裁判所に提出する書類の作成代理というのが伝統的な基幹業務となっています。具体的には、不動産の売買や建物を新築する際に発生する不動産関連の登記、会社の設立の際や役員変更等の際に生じる商業登記が主な仕事になっています。近年、相続関連の業務が増えております。高齢者の方や高齢者をかかえた親族の方からの、人の死の前後にまつわるような法律的なご相談をいただくケースが増えております。3つのステージに分けるとわかりやすいのですが、ご本人様が認知症になられる前となった後、そしてお亡くなりになった際です。認知症になる前であれば遺言書の作成業務、最近普及しはじめているのは民事信託のご相談です。認知症になられた後では成年後見というご相談、お亡くなりになった後は相続という形で、各年齢段階において様々なご相談をさせていただいております。他には、滞納家賃の回収や建物空き渡し訴訟など、訴訟関連の仕事もやらせていただいております。

30代後半、気がつけばもう40歳になっていたという状況です。40過ぎてからは体力の衰えも実感することが増えまして、健康診断や人間ドックを受診しようと思う今日この頃です。私がこのロータリークラブに入会させていただいて一番驚いたのは、ドクターの先生方が多数、所属してらっしゃるといふ点でございます。健康のご相談をさせていただくことがあるかもしれませんので、その際は、よろしくお願い致します。本日は、仕事の話が中心となりましたが、もし他の機会を頂戴することがございましたら、趣味や他のテーマでスピーチをさせていただければ幸いです。皆様、今後とも、よろしくお願い致します。